

市民の声を取り入れてさまざまな機能をもったコミュニティ施設を開設

(株)まちづくりとやま

機関名	(株)まちづくりとやま		
所在地	富山県富山市総曲輪2-1-3		
電話番号	076-495-5900		
地域概要	(1)管内人口 322千人	(2)管内商店街数 7商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 3商店街	(2)会員数 352商店	
	(3)空店舗率 11.6%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（複合施設）

・交流サロン、キッズコーナーの開設・運営

総事業費

24,997千円

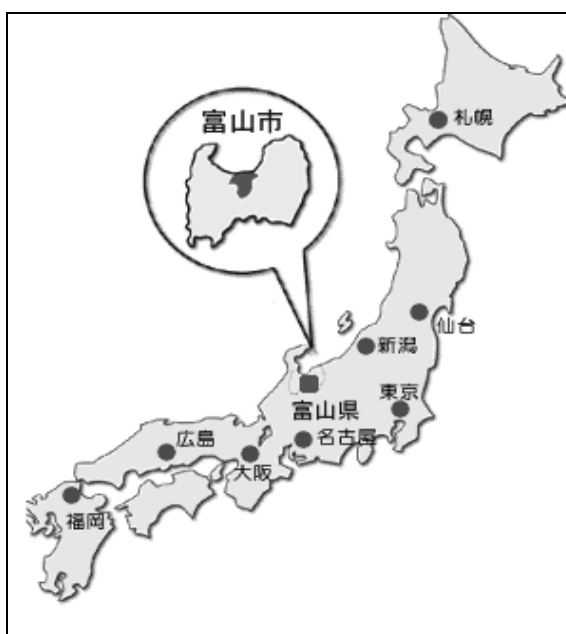
【事業実施内容】

1. 背景

富山市は、富山平野のほぼ中央に位置し、行政・文化・経済の中核機能を有する富山県の県都である。平成8年に中核市に指定され、現在、近隣6町村との合併を目指している。

富山市の中心市街地では、郊外化の進展により定住人口の減少と商業力の相対的競争力の低下が進んでおり、商店街の人通りが年々減少し、中心市街地としての賑わいや活気が失われつつある状況にある。

このような状況を受け、本事業は、「街」の機能の一部であるコミュニティ機能および利便機能を回復させて中心市街地の賑わいを取り戻すことを目的として商店街内にコミュニティ施設を設置・運営したものである。



富山市の位置(富山市役所HPより)

2. 事業内容

平成14年度に結成された市民による「交流づくり事業グループ」の意見を取り入れ、市民がコミュニティ施設に望む機能を把握した上でコミュニティ施設「街なかサロン」の整備・運営を行った。

用途	交流・ふれあい促進	文化・教養の向上	社会貢献	商業地場産業振興
顧客利便機能	◇施設案内コーナー ◇休憩コーナー ◇トイレなど			◇簡単な喫茶
交流機能	◇世代間ふれあい施設 ◇集会場 ◇親子交流施設	◇ミニギャラリー ◇自作品展示	◇市民団体の活動広場	◇物産品展示
情報提供機能		◇インターネット情報コーナー ◇街の情報提供コーナー ◇子育て情報提供		◇商店街情報コーナー
福祉機能	◇子育て支援機能		◇子どもの一時的預かり	

(1) 所在地・開館日時

3 商店街の中で最も歩行者通行量が多く、チャレンジショップなどの創業者育成施設や商住混合のシルバーハウスなどが整備されている中央通り商店街の空き店舗（旧洋装店）を活用した。

- ・住所 富山市中央通り 1-6-6
- ・オープン日 平成16年3月21日
- ・開館時間 1階：喫茶・交流サロン

10：00～18：00

2階：キッズコーナー

10：00～16：00

- ・定休日 毎週水曜日（祝祭日の場合は翌日）および1月1日

(2) 施設概要

- ・名称 「街なかサロン 樹の子」
- ・面積 1階 214.60 m² 2階 198.76 m²



「街なかサロン 樹の子」の外観

施設	スペース	利用内容
1階 交流サロン	展示コーナー	高齢者の趣味の作品やコンクール優秀作品の展示の場、富山の名産品や商店街こだわり商品等のPRの場。
	まちなか展示コーナー	商店街イベント情報、㈱まちづくりとやまのHPの情報収集の場。
	湯茶コーナー	コーヒー等の飲み物を提供する場。
	会議室	㈱まちづくりとやまに組織されている「まちづくり公房」や商店街の会議。
2階 キッズコーナー	キッズゾーン	絵本や遊具を設置し、親子で遊べる場の提供。
	絵本コーナー	子どもに絵本を読み聞かせる場の提供。
	ミーティングコーナー	小児科医、大学や保育専門学校の先生、保育士等を講師とした子育てセミナーやイベントに利用。
	お休みスペース	子どものお休みスペースを提供。
	子育てサロン	子育てに疑問や不安をもつ母親同士の情報交換の場。

(3) 運営体制

①実行委員会の設置

サロンの事業計画および管理運営に関する必要な事項を協議し、委員会の承認を得て㈱まちづくりとやまが運営上の規定などを定めた。

②運営スタッフ

施設全体の管理は、㈱まちづくりとやまが配置したスタッフ1名が行った。また、キッズコーナーに関しては託児経験者および商業者、一般市民のボランティアによるキッズコーナーサポーターを常時1名配置し、企画・運営を行った。

(4) PR活動

①広報ちらし、パンフレットの配布

オープニング広報ちらし3,000部、パンフレット2,000部を発行し、中心市街地の主要な施設や子育てに関係のある施設に設置、配布した。

②オープニングイベントの実施

3月21日(日)、27日(土)、28日(日)にオープニングイベントを実施し、新聞やテレビで告知されたこともあり施設に多くの人が来館した。



オープニングイベントの様子

イベント内容：バルーンアート、幼稚園マーチングバンドによる演奏、児童合唱団による合唱、素人大道芸、人形劇、子ども縁日、パネルシアター他

③施設愛称の公募

平成16年2月3日から12日までの10日間、(株)まちづくりとやまのホームページ上で施設の愛称を公募した結果、40件の応募があった。

【 効 果 】

・来街者の行動

オープンから日が浅いため、事業効果についてはまだ明確になっていないが、3月22日から31日までの1日平均来館者数は1階の交流サロンで70.6人、2階のキッズコーナーで26.1人となっている。また、利用者から「商店街に子どもを休ませたり、遊ばせたりする場所がなかったので施設ができてうれしい」という声が寄せられており、PR活動を積極的に行い、施設のホスピタリティを高めることで中心市街地の活性化に今後十分貢献すると考えられる。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. PR

「街なかサロン 樹の子」の存在が広く周知されていないことから、「何の施設か分からなかった」、「2階に子どもの遊び場があることを知らなかった」という意見が多くあり、まずは施設の存在を知ってもらう必要がある。ソフト事業の展開や、サインの設置を通して施設の存在を周知・広告していくことが今後の課題となると考えている。

2. 人的体制

2階のキッズコーナーはボランティアの協力のもとに運営が成立っており、資金・人員・マネジメントなど継続が危惧される要因が存在する。今後は市民団体の活用やNPO法人の設立、商店街の協力を仰ぐ等、採算を重視した運営体制を模索していく。

3. 商店街との連携

「街なかサロン 樹の子」の存在が商店街の活性化に繋がるように商店街とタイアップしたイベントの開催など、商店街と協調していくことが重要である。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

「街なかサロン 樹の子」は、来街者の交流の場を提供することを目的としているため、来館者の話相手となるようにスタッフ1名を常時配置しており、この点で多くのコミュニティ施設とは一線を画している。施設の特徴を多くの人に知ってもらうためには、イベントの開催等をマスコミを使ってPRし、認知度を高めることが大変重要であると考えている。

【 関 連 U R L 】

(株)まちづくりとやま <http://www.tmo-toyama.com/>